

防災訓練等指導業務報告書

リガー	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	事務局長	事務局

研修団体名	新居浜市立泉川中学校	住所	新居浜市星原町7-8	電話	43-5800
研修日時	令和5年03月10日 金曜日	研修対象者	泉川中学校 3年生	研修人数	81人 12テーブル
研修場所	泉川中学校 体育館	研修目的	年間通じて行っている防災訓練として避難所運営ゲームの実施		
講師	馬越 健	ファシリテータ	近藤雅義、川端悟、菅秀臣	オブザーバー	衣川裕二、菅春樹、後藤、村上

事前打合せ

日時	令和5年3月01日 水曜日 15時30分~16時30分	場所	泉川中学校
参加者 研修者	泉川中学校 担当教員	参加者 ネットワーク	馬越リガー

- 研修日時 3月10日 金曜日 9時00分~11時30分
- 場所 泉川中学校
- 参加者予定 泉川中学校 3年生 90名前後
- 講習内容 地震バージョン 120分
- 準備品について 教材(カード)、PC 雑材 不足品等については学校にて準備 設備(マイク、スクリーン)については 学校機材を貸与

ネットワーク

講師：馬越

ファシリテーター：近藤、川端、菅

- テーブルへの振り分けは、学校にて行う。



防災訓練等指導内容

- 指導開始挨拶、グループ分け → 事前に学校にて12グループ分けが完了している。
- 四国災害88景による別子大水害(M32年)、新居浜台風水害(H16年)等の説明を行い災害の状況等を説明。
- HUG研修
  - リーダー、読み手、書き手を決める。
  - 体育館内の通路、受付場所を決める。
  - カード読み上げ開始

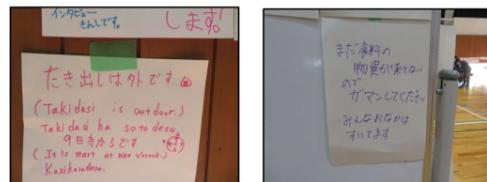
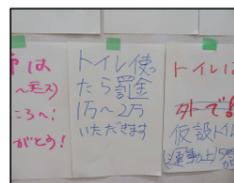
川端氏より読み手の説明。

- 研修内容
  - 掲示板にイラストが見られないが、英文の案内掲示がある。
  - 掲示板に具体的な指示事項がある。外国人・旅行者等に対する配慮がある。
  - どの会場にも共通しているが、読み手の声が小さく良く聞き取れていない。

講師寸評

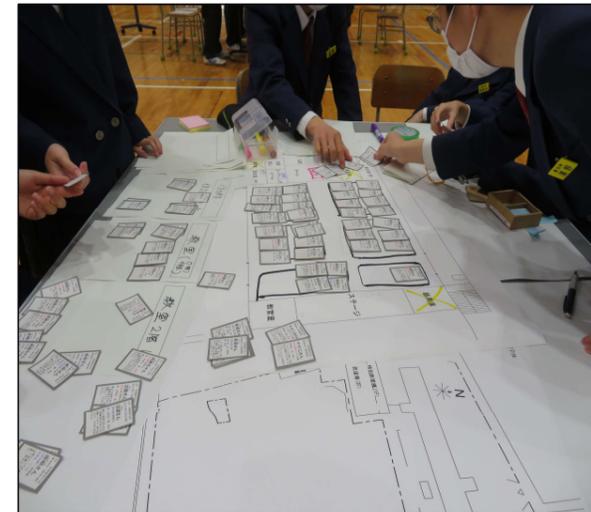
卒業の時期にハグを実施することに少し不安はありましたが、3時間の中で生徒たちは自分の意見を発しながら、掲示板にも多くの表現で張り付けていました。

やはりここでも、トイレに関することで悩んでいたようで「使用禁止のトイレ使用罰金」などユニークな啓示をしていた。あるグループは素直に「もう無理です、食糧持って逃げます。対策本部」など避難所運営の難しさを感じてくれたところもありました。多くの生徒さんが、災害が起きれば助け合うという再認識をしてくれたと確信します。



発行番号No.

令和5年03月10日



- HUG研修の感想
- 運営のすることは、スムーズに出来ると思っていたけどいろいろな出来事がおこり大変でした。運営をしてもらえる事は当たり前ではないので、もし災害が起きた時は今日の学習をいかして運営の手助けをしていきたい。
- 全員が違う作業をしていると声を通りにくく、連携をとるのが難しかった。小さい子どものお世話をする人が後で必要になり決めるのが大変だった。ペットが動物の種類によって部屋を分けなければならず、部屋の確保が難しかった。車で過ごしている人に、「新しい情報をどのように伝えればよいか分からなかった。
- 1人1人に合った「対処法を短時間で考えるのは難しかったです。必要に応じて適切な場を設けようとする教室が足りなくなるのも課題でした。実際にこうした場に直面したときできる限り協力をしていきたい。
- 避難してくる人も運営をする側にもそれぞれ事情があってそれを考えた上で配置を考えると想像以上に大変だと感じました。改めて災害意識が高まりました。そして災害しだいではなく、避難した後のことも考えて行動していきたいと思うようになりました。
- ペット連れや妊婦さん、両親が行方不明だったり、亡くなってしまったりする人などがたくさん来て大変だった。運動場や体育館が人で一杯になりました。実際に災害がきて、今日ゲームをしたことを素早く出来るかと聞かれると「はい」とは言い切れないので、これから少しずつ学んでいきたいです。楽しかったです。
- ただ話を聞いて並べるだけなのに状況を判断したり新しい場所を作ったりわかり出すと、掲示する文を考えるのが大変でした。かなり切羽詰まっていたけど実際はもっと大変なんだろうと思うと災害の恐ろしさがよく分かりました。この経験を生かして避難するような事があれば自分も役に立ちたいと思います。